

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170500195		
法人名	株式会社 ジョウジマ		
事業所名	グループホーム伊万里		
所在地	佐賀県伊万里市二里町八谷からみ781-1		
自己評価作成日	平成22年9月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成22年9月28日	外部評価確定日	平成22年10月22日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の状況に応じ、柔軟にサービス対応ができる。また、終末期の地域医療との連携。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

玄関に各々のサービスの表札が掲げられ、一軒の家としての雰囲気を作りだしている。利用者一人ひとりの状態に応じた援助を基本に、積極的な外出支援をおこない、地域の方との交流も行われている。ホーム全体での学習意欲もあり、全国大会やグループホーム協会の研修会、研究発表会など積極的に参加され、代表者を始め職員は、認知症に対する理解と思いやりが対話、態度に見られ日々の介護に生かされ、介護に対しての意欲が感じられる。

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえて棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「一人一人が地域の中で土と水と空気と人とふれあい、その人らしく生きていただく」という理念を作りあげている。また、毎朝の申し送り時、職員全員で理念を読み上げ、理念の下で業務をおこなっている。	「一人一人が地域の中で土と水と空気と人とふれあい、その人らしく生きていただく」という理念を作りあげている。また、毎朝の申し送り時、職員全員で理念を読み上げ、理念の下で業務をおこなっている。	ホーム創立時より毎日申し送り時には理念を読み上げ職員全員が理念の下での業務を行っている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民の方と気軽に挨拶できるよう努め、町内の行事に参加するなどつながりを絶やさぬようにしている。また、グループホームでの行事に地域の方をお誘いするなど交流を深める働きかけをしている。	地域住民の方と気軽に挨拶できるよう努め、町内の行事に参加するなどつながりを絶やさぬようにしている。また、グループホームでの行事に地域の方をお誘いするなど交流を深める働きかけをしている。	ボランティアの方に玄関の大きな壺に季節の生け花を生けていただいたり、日常の挨拶を交わしたり、事業所の催し物のときに婦人会の訪問、グループホームでの行事に近所の方の参加を呼びかけ交流を深める努力がなされている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行政からの依頼で、認知症の方の対応等の講義を地域住民の方におこなったり、地域の高齢者の方の災害時の避難場所として受け入れ体制をとるなど、地域に貢献できるよう努めている。	行政からの依頼で、認知症の方の対応等の講義を地域住民の方におこなったり、地域の高齢者の方の災害時の避難場所として受け入れ体制をとるなど、地域に貢献できるよう努めている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に会議を行い、利用者の状況や行事の経過、事例の報告などを通し、ご家族や運営委員の方々との意見交換を行なっている。その結果を現場のサービス向上に生かしている。	定期的に会議を行い、利用者の状況や行事の経過、事例の報告などを通し、ご家族や運営委員の方々との意見交換を行なっている。その結果を現場のサービス向上に生かしている。	地域の区長、市の行政担当者、地域の消防団、民生委員、家族、職員等にて定期的に会議を行い意見交換を行い、出された意見を参考にし職員と共にサービスの向上に努めている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市で開催されているコミュニティーケア会議などに参加をし、地域や行政の担当者や情報交換を行なっている。その際、事業所の事例報告や意見交換をし、協力関係を築いている。	市で開催されているコミュニティーケア会議などに参加をし、地域や行政の担当者や情報交換を行なっている。その際、事業所の事例報告や意見交換をし、協力関係を築いている。	市主催の会議等には必ず出席をして意見の交換を行い、積極的に協力関係を築いている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルに基づいて、身体拘束についての研修をおこない、玄関の施錠や身体的直接的な拘束を行わないように取り組んでいる。	マニュアルに基づいて、身体拘束についての研修をおこない、玄関の施錠や身体的直接的な拘束を行わないように取り組んでいる。しかし、利用者の状況により身体的な危険が伴う場合は、ご家族に同意を得、措置をとっている。	玄関の施錠は行わず、利用者の状態に応じて付き添い散歩、外出、見守りなどにて対応がなされている。利用者身体的な危険が伴うような場合は、家族の同意を得て対応がなされている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルに基づき、高齢者虐待についての研修を行なっている。また、事業所内ではもちろん、事業所外でも虐待がないかを注意している。	マニュアルに基づき、高齢者虐待についての研修を行なっている。また、事業所内ではもちろん、事業所外でも虐待がないかを注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の中に、実際に成年後見制度を利用されている方もおり、事業所の研修で勉強会も行っている。利用者の中に対象者がいる場合は制度に関して説明したり働きかけを行っている。	利用者の中に、実際に成年後見制度を利用されている方もおり、事業所の研修で勉強会も行っている。利用者の中に対象者がいる場合は制度に関して説明したり働きかけを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約時などは、利用者や家族と話し合いの機会を持ち、説明に加え、疑問点があればそれに対して回答し、納得の上で契約を行なっている。	契約時、解約時などは、利用者や家族と話し合いの機会を持ち、説明に加え、疑問点があればそれに対して回答し、納得の上で契約を行なっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関ロビーに意見箱を設置しており、随時、苦情や要望等意見を受け付けている。又、ご家族の面会時には、情報交換ができるように心がけ、意見等を聞ける雰囲気作りに努めている。	玄関ロビーに意見箱を設置しており、随時、苦情や要望等意見を受け付けている。又、ご家族の面会時には、情報交換ができるように心がけ、意見等を聞ける雰囲気作りに努めている。	家族の方の面会時には積極的に意見要望などを聞き、又電話での連絡も行っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務の中で、話し合う機会を設けており、又、毎月の職員会議で意見や提案を聞く場が設定している。そこでの意見を運営に反映させる代表者や管理者は日々努めている。	日々の業務の中で、話し合う機会を設けており、又、毎月の職員会議で意見や提案を聞く場が設定している。そこでの意見を運営に反映させる代表者や管理者は日々努めている。	日常の業務の合間にも意見の交換を行うと共に毎月の職員会議で職員から出された意見等をもとに改善につなげ、又行事等も職員の立案、協議にて行われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	積極的な研修への参加や資格取得など個々の実績や勤務態度を評価し、それに伴い、昇給や休憩場所の設置など職場環境の整備に努めている。	積極的な研修への参加や資格取得など個々の実績や勤務態度を評価し、それに伴い、昇給や休憩場所の設置など職場環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内の研修はもちろん、外部の研修にも積極的に参加できるように機会を設定し、職員の介護技術の向上に働きかけている。	事業所内の研修はもちろん、外部の研修にも積極的に参加できるように機会を設定し、職員の介護技術の向上に働きかけている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所との会議に参加をしたり、他事業所見学をするなど、同業所間で交流を深め、情報交換や意見交換をすることで、質の向上に努めている。	他事業所との会議に参加をしたり、他事業所見学をするなど、同業所間で交流を深め、情報交換や意見交換をすることで、質の向上に努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人の言葉・状態をよく観察し、要望や困っている事を解決できるように対応している。また、利用者との信頼関係を早く築けるよう本人の訴えに傾聴するよう努めている。	利用者本人の言葉・状態をよく観察し、要望や困っている事を解決できるように対応している。また、利用者との信頼関係を早く築けるよう本人の訴えに傾聴するよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居に到るまでの経緯や今後の要望・困っている事などを情報収集し、解決できることには早急に対応するなど、利用にあたっての不安がないよう努力している。	入居に到るまでの経緯や今後の要望・困っている事などを情報収集し、解決できることには早急に対応するなど、利用にあたっての不安がないよう努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者本人や家族の要望が当事業所で出来るサービスと合致するかを検討し、他のサービスも視野に入れながら、その都度、支援の見極めをおこなっている。	利用者本人や家族の要望が当事業所で出来るサービスと合致するかを検討し、他のサービスも視野に入れながら、その都度、支援の見極めをおこなっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の力が発揮できる環境づくりに努め、日常生活を共にすることで、職員と利用者がお互いに助け合い、同等の関係であるように努めている。	入居者の力が発揮できる環境づくりに努め、日常生活を共にすることで、職員と利用者がお互いに助け合い、同等の関係であるように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会など、いつでも受け付け、利用者の状態報告をしたり、状況を共有することで、ご家族と共に利用者を支える関係作りに努めている。また、遠方のご家族には、電話連絡で状況報告など近況をお知らせしている。	ご家族の面会など、いつでも受け付け、利用者の状態報告をしたり、状況を共有することで、ご家族と共に利用者を支える関係作りに努めている。また、遠方のご家族には、電話連絡で状況報告など近況をお知らせしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の以前からかかりつけていた病院や美容室など馴染みの場所へお連れするようにしている。しかし、身体的や認知力の低下により、以前行くことが出来た場所に行けなくなっているケースも多い。	利用者の以前からかかりつけていた病院や美容室など馴染みの場所へお連れするようにしている。しかし、身体的や認知力の低下により、以前行くことが出来た場所に行けなくなっているケースも多い。	美容院・かかりつけ医・なじみの場所・友人との面会等できるだけ持続できるように努力されている。心身機能の低下と共に関係が希薄とならないよう、出来るだけ関係を維持できるように、野球、サッカーの観戦等に定期的に行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者同士の関わりの掛け橋になり、プライベートな時間も持ちつつ、グループホームでの共同生活を円滑に過ごせるように援助している。	職員が利用者同士の関わりの掛け橋になり、プライベートな時間も持ちつつ、グループホームでの共同生活を円滑に過ごせるように援助している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院などで契約が更新できない場合なども、その後の生活の場を外部に相談したり、本人やご家族が安心できる体制をとっている。また、契約終了時も随時、相談などを受け付けている。	長期入院などで契約が更新できない場合なども、その後の生活の場を外部に相談したり、本人やご家族が安心できる体制をとっている。また、契約終了時も随時、相談などを受け付けている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や行動から本人の気持ちや思いを把握し、希望に添える工夫をしている。しかし、認知症により、自分の思いを言えない方が多いため、ご家族やケアマネからの情報などを考慮し、現在の本人の状況を照らし合わせ、本人の立場に立ち思いの把握に努めている。	日々の会話や行動から本人の気持ちや思いを把握し、希望に添える工夫をしている。しかし、認知症により、自分の思いを言えない方が多いため、ご家族やケアマネからの情報などを考慮し、現在の本人の状況を照らし合わせ、本人の立場に立ち思いの把握に努めている。	入所前の日常生活の情報を家族の方に聞いたり、ホームでの日常生活のなかでの行動や雰囲気から本人の意向、希望を把握し、職員間で情報の共有をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居に際し、生活歴やこれまでの様々な経過などの情報をとっている。また、入居後も本人やご家族に尋ね、これまでの生活環境の把握に努めている。	入居に際し、生活歴やこれまでの様々な経過などの情報をとっている。また、入居後も本人やご家族に尋ね、これまでの生活環境の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの暮らしぶりの状況を把握しながら、現在の暮らしぶりや心身状態・残存機能など一人ひとりの暮らしの把握に努めている。	これまでの暮らしぶりの状況を把握しながら、現在の暮らしぶりや心身状態・残存機能など一人ひとりの暮らしの把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族・ケアマネから得た情報や現状を考慮し、計画作成者・担当者を中心に、本人の望ましい介護計画の作成に努めている。	本人やご家族・ケアマネから得た情報や現状を考慮し、計画作成者・担当者を中心に、本人の望ましい介護計画の作成に努めている。今後の検討課題としては、ケアプランに対するご家族の意見が直接聞けないことが多く、面会時に何うなど方法を検討している。	家族・本人を交えての計画を基本として家族の方の直接の参加が難しい場合は、面会時に意見を聞き、ケアマネジャー、計画作成者、担当者スタッフが本人の意見を汲み取りながら作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者個々のケース記録やケアプランの実施状況をチェックする用紙を作成しており、見直しの際に活用している。	利用者個々のケース記録やケアプランの実施状況をチェックする用紙を作成しており、見直しの際に活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者やご家族の状況により、グループホームで対応可能な限り、できるだけ対応を行なっている。例えば、遠方のご家族に代わり、入院時の洗濯物の代行や通院の介助なども行なっている。	利用者やご家族の状況により、グループホームで対応可能な限り、できるだけ対応を行なっている。例えば、遠方のご家族に代わり、入院時の洗濯物の代行や通院の介助なども行なっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアや消防団との交流もあり、必要に応じて協力し合える関係作りが出来ている。	地域のボランティアや消防団との交流もあり、必要に応じて協力し合える関係作りが出来ている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居以前の主治医を継続されたり、グループホームの協力医療機関に変更されるなど、利用者本人やご家族の要望や状況に応じて、本人にとって適切な医療が受けられるような体制をとっている。	入居以前の主治医を継続されたり、グループホームの協力医療機関に変更されるなど、利用者本人やご家族の要望や状況に応じて、本人にとって適切な医療が受けられるような体制をとっている。	入所前のかかりつけ医、主治医は基本的には継続している。受診には職員が付き添い主治医との情報交換を密に行っている。状態などで変化があれば家族に報告し対応を行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常時 状態観察をおこない、心身の異変や気になる事があれば、医療責任者に報告したり、受診時に看護師に相談するなど、利用者の代弁者として適切な医療が受けられるように努めている。	常時 状態観察をおこない、心身の異変や気になる事があれば、医療責任者に報告したり、受診時に看護師に相談するなど、利用者の代弁者として適切な医療が受けられるように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医療機関へ、利用者の状態報告を密におこない、入院先でも混乱なく安心し同様のケアが受けられるように連携をおこなっている。日頃より、医療関係機関とは、スムーズな情報交換や連携が取れるよう、関係作りにも努めている。	入院先の医療機関へ、利用者の状態報告を密におこない、入院先でも混乱なく安心し同様のケアが受けられるように連携をおこなっている。日頃より、医療関係機関とは、スムーズな情報交換や連携が取れるよう、関係作りにも努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアの方針や指針・同意書などマニュアルを作成しており、時期をみて、ターミナルの必要性が起こる段階で、ご家族を中心に話し合いを行なっている。また、地域の医療機関とも連携ができておりチームケアを実施している。	ターミナルケアの方針や指針・同意書などマニュアルを作成しており、時期をみて、ターミナルの必要性が起こる段階で、ご家族を中心に話し合いを行なっている。また、地域の医療機関とも連携ができておりチームケアを実施している。	ターミナルケアのマニュアルも作成されている。これまでもターミナルケアの経験もあり、本人・家族・主治医・職員が情報を共有し、本人・家族の思いに添った最期を迎えることが出来るよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応や事故発生時の動きなどのマニュアルを作成しており、スタッフ研修会などで、マニュアルやDVDを参考にしながら勉強会をおこなっている。	急変時の対応や事故発生時の動きなどのマニュアルを作成しており、スタッフ研修会などで、マニュアルやDVDを参考にしながら勉強会をおこなっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防火訓練やスタッフ研修会にて、日中と夜間を想定した訓練をおこなっている。また、地域の消防団や公民館館長とも連携し、災害時の非難方法などの協力体制を確認している。	年2回の防火訓練やスタッフ研修会にて、日中と夜間を想定した訓練をおこなっている。また、地域の消防団や公民館館長とも連携し、災害時の非難方法などの協力体制を確認している。	自動通報装置を設置している。年2回の訓練のほかに夜間を想定しての訓練の実施を計画している。訓練時の問題点があれば解決のための検討も行っている。地区の消防団の方に施設内の居室の配置など見てもらい協力体制を築いている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者への接遇(言葉遣い・態度など)に日々注意し、勉強会もおこなっている。しかし、1人ひとりの個性や人格に配慮した対応を心がけているが、声のトーンや目線・表情などがきつくなっているか、反省する点もある。	利用者への接遇(言葉遣い・態度など)に日々注意し、勉強会もおこなっている。しかし、1人ひとりの個性や人格に配慮した対応を心がけているが、声のトーンや目線・表情などがきつくなっているか、反省する点もある。	ホーム内での勉強会・外部講師を招いての接遇の勉強も行い、日常の言葉かけなど馴れ合いにならないよう注意している。又、個人情報・記録物等の管理にも気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中で、食事の希望やその他思いを引き出すような働きかけを心がけているが、能力的に困難な方も多くなり、対応に工夫をしている。例えば、選択メニューやバイキング形式を取り入れるなど。	日常の会話の中で、食事の希望やその他思いを引き出すような働きかけを心がけているが、能力的に困難な方も多くなり、対応に工夫をしている。例えば、選択メニューやバイキング形式を取り入れるなど。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースやその日の状態を見守り、職員の業務の都合に合わせて、利用者の希望に添って、1日1日を過ごしていただくように努めている。例えば、入浴の時間も希望を聞き、入っていただいている。	利用者のペースやその日の状態を見守り、職員の業務の都合に合わせて、利用者の希望に添って、1日1日を過ごしていただくように努めている。例えば、入浴の時間も希望を聞き、入っていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪形や服装など本人に尋ね、好みを取り入れている。ご自分で身の回りのことが出来ない方は、その人にあった服装などを考え対応している。	髪形や服装など本人に尋ね、好みを取り入れている。ご自分で身の回りのことが出来ない方は、その人にあった服装などを考え対応している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえ(野菜きりなど)や片付けなど、職員と利用者でおこない、同じ食卓で同じ料理を食べている。利用者の希望を献立に取り入れたり、食事を楽しんでいただく工夫をしている。	食事の下ごしらえ(野菜きりなど)や片付けなど、職員と利用者でおこない、同じ食卓で同じ料理を食べている。誕生日には本人の希望の献立にするなど、利用者の希望を献立に取り入れたり、食事を楽しんでいただく工夫をしている。	野菜の皮を剥いたり、切ったり、片付けたり、食事を盛り付けたり、職員と一緒に、又利用者の希望の献立等を取り入れ食事を楽しむ工夫がなされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状態に合わせ、食事の形態や量、水分量の調節をおこなっており、記録に残すことで摂取量の把握をしている。1人1人の状況に合わせ、摂取量のバランスをとっている。	利用者の状態に合わせ、食事の形態や量、水分量の調節をおこなっており、記録に残すことで摂取量の把握をしている。1人1人の状況に合わせ、摂取量のバランスをとっている。		



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを徹底しており、介助の必要のある方は職員が確実にケアをおこなうことで、清潔保持をおこなっている。	毎食後に口腔ケアを徹底しており、介助の必要のある方は職員が確実にケアをおこなうことで、清潔保持をおこなっている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者1人1人の排泄パターンを記録し、把握している。状態により、トイレ誘導や介助をおこない、失禁や不必要なオムツの使用をおこなわないように努めている。	利用者1人1人の排泄パターンを記録し、把握している。状態により、トイレ誘導や介助をおこない、失禁や不必要なオムツの使用をおこなわないように努めている。	入居時より一人ひとりの排泄パターンを記録し、把握に努め、一人ひとりの排泄シグナルを見てトイレ誘導や介助を行ない早めのオムツはずしに努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者1人1人に排便のチェックをおこなっており、便秘の予防をおこなっている。予防策として水分補給や服薬管理、体操などを促し対策をとっている。	利用者1人1人に排便のチェックをおこなっており、便秘の予防をおこなっている。予防策として水分補給や服薬管理、体操などを促し対策をとっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に毎日入浴を実施しており、職員の都合に合わせてではなく、利用者本人に希望を聞き、入浴していただいている。ご自分で希望がいない方は、体調や状態をみながら入浴していただいている。	基本的に毎日入浴を実施しており、職員の都合に合わせてではなく、利用者本人に希望を聞き、入浴していただいている。ご自分で希望がいない方は、体調や状態をみながら入浴していただいている。	毎日入浴を基本とされているが、利用者の体調、希望により入浴をされないときもあり、そのような時は清拭をされている。自分で訴えが出来ない利用者の場合は、職員が状態に応じ入浴、又は清拭を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の居室で思い思いに休息を取られたり、体調をみながら、職員が援助、介助をし休んでいただいている。	個人の居室で思い思いに休息を取られたり、体調をみながら、職員が援助、介助をし、時には一緒に横になるなど利用者が安心できる状況を作り、休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容や用量など薬局からの説明書を確認し把握している。また、医師や薬剤師から受けた注意などを受診ノートに記録し、職員全員が確認できるようにしている。	薬の内容や用量など薬局からの説明書を確認し把握している。また、医師や薬剤師から受けた注意などを受診ノートに記録し、職員全員が確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	以前の嗜好や生活歴を把握し、現在の状況と合わせ、利用者1人1人の楽しみごとや気分転換の機会を援助するように心がけている。	以前の嗜好や生活歴を把握し、現在の状況と合わせ、利用者1人1人の楽しみごとや気分転換の機会を援助するように心がけている。例えば、手芸や生け花など利用者の力を発揮できる機会を増やすようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出やドライブ、行事など外出する機会を設けており、希望や本人の体調・状況をみながら、戸外へお連れしている。しかし、身体状況などにより、外出が困難な方もおり、そういった方は、ホーム敷地内を車椅子でお連れするなどしている。	外出やドライブ、行事など外出する機会を設けており、希望や本人の体調・状況をみながら、戸外へお連れしている。しかし、身体状況などにより、外出が困難な方もおり、そういった方は、ホーム敷地内を車椅子でお連れするなどしている。	散歩、温泉、スポーツ観戦など、本人の希望や体調を考慮し、状態に応じ車椅子を使用し積極的な外出支援がなされている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の希望や金銭の管理能力を把握し、本人に所持してもらう場合もあれば、こちらで預かり、必要時に使っていたりしている。ほとんどの利用者はご自分では管理できない状況である。	利用者の希望や金銭の管理能力を把握し、本人に所持してもらう場合もあれば、こちらで預かり、必要時に使っていたりしている。ほとんどの利用者はご自分では管理できない状況である。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はリビングに設置しており、いつでも自由に使用できるようになっている。しかし、介助が必要であり、希望時職員が代行し、電話やそのほか手紙などのやり取りをおこなっている。	電話はリビングに設置しており、いつでも自由に使用できるようになっている。しかし、介助が必要であり、希望時職員が代行し、電話やそのほか手紙などのやり取りをおこなっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや台所など共有のスペースには、季節感のある飾り付けやソファ・テーブルなど生活感のある安心できる空間作りに努めている。	リビングや台所など共有のスペースには、季節感のある飾り付けやソファ・テーブルなど生活感のある安心できる空間作りに努めている。	居室の窓からは外の景色が見え、四季の移り変わりを肌で感じ取れるようなゆったりとした雰囲気があり、換気、消臭、生け花など、居心地のよい空間づくりの工夫がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間であるリビングにはフローリングの洋間と畳の間があり、他者と隣り合い談話を楽しむこともでき、また、1人でソファに座りゆっくりできるスペースもある。それぞれ、思い思いに過ごすことが出来ている。	共有空間であるリビングにはフローリングの洋間と畳の間があり、他者と隣り合い談話を楽しむこともでき、また、1人でソファに座りゆっくりできるスペースもある。それぞれ、思い思いに過ごすことが出来ている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	できるだけ、自宅で使用されていた家具や食器などを用意してもらい、好みのものや使い慣れた物がある環境で安心して生活できるように配慮している。	できるだけ、自宅で使用されていた家具や食器などを用意してもらい、好みのものや使い慣れた物がある環境で安心して生活できるように配慮している。	利用者が入居前に使用していた使い慣れたタンス・鏡・布団・寝台などが持ち込まれ、利用者が安心して生活できるよう、部屋のなかに配置されている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室やトイレなど場所がわかりやすいように明記し、また、通路には障害物はないようにし、段差があるところには、手すりを設置するなど安全で自立した生活が出来るように対応している。	自室やトイレなど場所がわかりやすいように明記し、また、通路には障害物はないようにし、段差があるところには、手すりを設置するなど安全で自立した生活が出来るように対応している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
		○	○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない